

市民まちづくり連続講座in明石

政策提言市民団体「市民自治あかし」は、7月23日から「市民まちづくり連続講座 in 明石」を開催します。山積する明石市政とまちづくりの課題を、一つずつ具体的に取り上げて、市民の関心のすそ野を広げていく趣旨です。

原則としてほぼ毎月1回のペースで、新しく開設されたアスパア明石8階の市民活動支援センターのフリースペースを会場に開催します。厳しい財政事情を抱えながら、人口約30万人の明石市はたくさんの懸案を前にしています。しかし、その一つひとつは、市民に実態が十分伝わっていません。

明石でいま、どんな問題が、どのように生じているのか？ 市民の多くが情報を共有することから、市民の「参画と協働」にもとづく市政がはじまり、将来に悔いのない市民主体のまちづくり進んでいくと考えます。たくさんの市民の皆さんがご参加いただけますよう、期待しています。

第1回のスタートは 7月23日(日) 午後1時30～4時30分

会場 ウイズあかし(アスパア明石8階)市民活動支援センター フリースペース

テーマ 明石港再開発計画とは何か？

※事前申込は不要 どなたでも参加できます。当日資料代 300円

連続講座のスタートは、明石駅前中心市街地の南の拠点である「明石港」で検討が進められている再開発計画をテーマにします。

中心市街地活性化基本計画では、明石駅前再開発事業と明石港周辺の再整備事業は車の両輪であり、駅前の再開発ビルだけでは中心市街地の活性化にはつながらないことが明記されていました。しかし、2015年10月に提示された同計画の「第2期計画」には肝心の砂利揚げ場を含めた港湾区域の整備計画は何ら触れずに、計画中の大衆演劇劇場「ほんまち三白館」に依存した案しか盛り込んでいませんでした。

ところが、昨年6月になって兵庫県が砂利揚げ場の移転または廃止を前提とした「明石港東外港再開発検討委員会」を立ち上げて、昨年10月から委員会を開催し、今年5月までに3回の委員会を開き今年上半期中に港の再開発計画を提案するとしています。そもそも砂利揚げ場を含めた東外港は、フェリー乗り場のために埋め立て造成されたものですが、フェリーの廃止やフェリー跡地の民間マンション開発業者への売却の過程では港の再整備計画には取り組まず、フェリー跡地にマンションができてしまってから港の再開発を検討するという不可思議な経過をたどってきました。

いま、県主導で進められている明石港再開発計画づくりではどのような検討が行われているのかを検証するとともに、明石の海の玄関口でもある明石港と周辺地域のあり方を一緒に考えてみませんか。



当面、年内の講座の予定と開催計画 (裏面に詳細)

第2回以降は、②8/26(土) ③10/7(土) ④10/28(土) ⑤12/3(日)の予定で逐次開催します。裏面に各回のテーマ等の詳細を紹介していますので、ご予約下さい。

市民まちづくり連続講座in明石

第2回以降の開催計画

回	日時	テーマと内容	会場
②	8月26日(土) 13:30~16:00	中核市移行の持つ意味と課題 (明石市中核市準備室の出前講座) 2018年4月に移行することによって、明石はどのようなのか？ 中核市の持つ意味と課題を考える。	ウィズあかし 8階FSブース (アスピア明石 FSは フリースペース) 無料
③	10月7日(土) 13:30~16:00	旧図書館跡と生涯学習センター分室の行方 (明石市文化・スポーツ室の出前講座) 明石駅前に移転した明石公園の旧図書館跡はどのようなのか？ 開設される「ふるさと図書館」とは？ 旧中央公民館跡をサークル団体に開放された“分室”の将来は？	ウィズあかし 8階フリースペース 無料
④	10月28日(土) 13:30~16:30	明石の食文化とは何か？ 11月に明石で「B級グルメ西日本大会」が開かれるのを機会に、明石の食文化について食の専門家の話をもとに参加者で議論する。	ウィズあかし 8階フリースペース 資料代300円
⑤	12月3日(日) (日程は予定) 13:30~16:00	「支え合いの地域福祉」の現状と課題 今年度から試行的に始まった新しい「地域支え合いの家」事業とは何か？ 今後全市に広げるにあたって施策の中身と実際を学ぶ。明石市高年介護室地域総合支援担当の出前講座として、関係者も出席して共に考える。	ウィズあかし 8階フリースペース (予定) 無料

来年1月以降も引き続き、時宜に応じたテーマを設定し、開催していきます。当面は、1月以降「公共施設の削減計画はどうなった？」(仮題)と「自治基本条例の市民検証報告書を読む」(同)などを検討中ですが、ご希望のテーマ等があれば、事務局等へご意見をお寄せ下さい。

8回目の連続請願も 議会多数派はすべて「不採択」

6月議会

採決時には「賛否の理由」を明らかにすることも反対

明石市議会は6月30日開いた本会議で、市民自治あかしが提出していた「議会の採決時には『賛否の理由』を明らかにすることを求める請願」を、未来市民6名と共産党1名の賛成少数により不採択としました。採択に反対したのは、真誠会(10名)公明党(6名)民主連合(3名)と2つの一人会派の議員2名でした。これで、一昨年4月の改選以来提出してきた議会改革に関わる請願は8件すべてが多数会派によって葬られたこととなります。

今回の請願は議案に対する賛否の説明責任を明らかにするように求めたもので、議会運営ではごく当たり前の市民からの声でした。しかし、請願を審査した議会運営委員会では採択に反対する会派の議員は「説明責任は程度の問題。現状でも果たしていないとは言えない」という意見を述べただけで、市民の指摘を受けてさらに努力するという姿勢さえ見せない「反対ありき」に終始しました。

議会でどのような議論が行われたかの詳細は、市民自治あかしのHPに傍聴記等を掲載していますので、ぜひ、ご覧下さい。<http://shimijichi-akashi.net/>

また、請願項目にあった「本会議での委員会報告」の改善に対して、この本会議では議運委に出ていた議員が報告した3つの委員会報告では、簡単ながら審議の経過を口頭で説明していたことが注目された。